

当初は 8/31 に計画した山行でしたが、のろのろ台風の影響で何回も延期になり、ようやく実施の運びとなりました。度重なる日程変更で都合がつかずに、当初計画の 4 名が 2 名となってしまうと残念。前回の山行が 7/末の利尻山山行でしたが、それからお盆を挟んで次の山行計画について日程が合わずに組めなかったため、結局 1 か月半ぶりの山行となり少し不安はありましたが、車を降りると自然と戦闘モードにスイッチが入りました。

5 時 30 分始発のバスに乗る為、予定通りに 5 時に戸台パーク駐車場（仙流荘前）に到着すると、「まあまあ混むだろうな」との予想をはるかに上回る車の台数と、乗車待ちの人の列が目に見え込んできました。駐車もそこそこに手分けして切符購入役とバスの順番待ちに分かれました。バス待ちの列は最後尾から折り返して 3 列半ほど、一体何百人いるんだろう。

バスは細い山道で機敏に動けるようにという事か 28 人乗りの小型でしたが、この状況の中予定を早めてすでに始発が 5 時前から動いているようでした。スタンバイしていたバスが全て出払った段階でようやく先頭から 1 列目最後尾の位置に到達です。後ろを見ると 5 時以降に到着した登山者の列が、我々が並んだ時と変わらないくらいまで連なっていました。あとは先行したバスが折り返して戻ってくる 2 巡目以降を待つのみですが、これじゃあ 2 巡でも足りないかもと思わせるほどです。後でわかったことですが、バスは全部で 11 台出ていました。

天候は駐車場に着いたときは上空一面雲に覆われ、晴れのはずでは？と少々焦りましたが、バスを待っている間に一気に雲が取れて晴れ間が広がりました。霧が上空に登っていく途中だったようです。そうでなくちゃ、この日まで我慢した甲斐がない。

峠まで片道 55 分の所用時間ですが、1 巡目の先頭車両が戻ってきたのは 6 時 30 分。予想よりはるかに速い。運転手さん頑張ってますね!! 乗車できたのは 2 巡目の 3 台目補助席。予定より 50 分遅れの出発です。道は程なく狭くなり、待避所でないとバスがすれ違えないほどですが、バス会社が無線で連携して各車の位置を逐一報告し合い、どの待避所でどちらが待機するかを指示していました。待避所で待機していると 10 秒もしないうちに対向車が。お見事!! 途中何台ものバスとすれ違いながらドライバーさん達の見事な連携で、峠到着までの所用時間は 50 分でした。

トイレを済ませていよいよ登山開始。出だしで予定外の足止めを食って 45 分遅れてのスタートとなり、一気に挽回と行きたいところですが、久しぶりの山行とあって焦りは禁物。無理せずゆっくりと入り、体が慣れてから徐々にペースを上げて行く作戦です。そのせいか後続のバスで着いた人たちに次々に道を譲り、その数ざっと 40~50 人程に。でも体への負担は思った程なく、時間も徐々に挽回していきました。樹林帯を歩く登山道は、9 月になってもまだ高温の異常気象ながらその割に涼しいのですが、湿度も高いせいか結構汗だくでした。樹林帯を抜けて這い松エリアに入ると、直射日光が照り付けてきましたが、下から吹きあがってくる風が意外と涼しく、とても心地よく歩を進めることが出来ました。

小仙丈ヶ岳に着くといよいよ「南アルプスの女王」仙丈ヶ岳の山体が目の前に大きく立ちのぼります。でも山頂まではまだ 1 時間余りの行程。うねうねと続く稜線を、着実に歩を進めます。夏の花も終わり、秋の紅葉にはまだ早く、身近にはこれと言って見るものはありませんが、稜線歩きは周囲に視界が開けて遠くの景色がよく見え、格別な解放感があります。遠くに富士山、八ヶ岳、近くに鋸岳、甲斐駒ヶ岳、北岳、間ノ岳、鳳凰三山がよく見え、絶景です。

いくつものピークを越えて、ようやく仙丈ヶ岳頂上到着。記念撮影の間にいつの間にか背後からキリが巻いてきて、下山の際の最初の目標物である、すぐ真下によく見えていた仙丈小屋も見えなくなっていました。頂上で昼食をとった後下る際に霧で方向を見失い、思い込みで大仙丈ヶ岳の方に向かいそうになりました。すぐに違和感を覚えて 10 メートルほどで引き返して事なきを得ましたが、思い込みは危ないですね。下り始めてすぐに霧が晴れて眼下に仙丈小屋が見えてきた時、ほっと胸を撫で下ろしました。山頂出発が計画より 15 分遅れ。北沢峠発の帰りのバスは 15 時か最終の 16 時。出来れば 15 時に間に合いたいという事で、下りは少しピッチを上げました。登りは小仙丈ヶ岳経由の稜線ルートでしたが、下りは馬の背ヒュッテ経由の長いトラバースコース。登りではたくさんの人に道を譲りましたが、下りではたくさんの人に道を譲ってもらい、休憩もそこそこに済ませてひたすら下りました。途中から若い女性が背後からつかず離れずついてきましたが、その人も先を急いでいいペースメーカーだと思われたのかも。頑張った甲斐があつて北沢峠には 5 分前の 14 時 55 分に到着。希望のバスに間に合って 15 時 15 分出発となりました。

帰りのバスと行き違いに、満員の乗客を乗せた上りのバス 3 台とすれ違い、4 台目も 8 割ほどの乗車率。その後は空の回送車が何台も峠に向かって上って行きました。これは最終 16 時便対応分なのでしょう。こんな時間に上って行く人は今晚は小屋かテント泊で、ゆっくりして明日の朝からが本番なんだな、そういうのも悪くないな、などと勝手に思いを巡らしました。それにしてもバスの運転者さんですが、狭い山道のすれ違いの連携も見事でしたが、往き帰りの途中の絶景ポイントでは徐行したり、一時停止しながらいろいろと解説をしてくれ、下りの最後には「まもなく秋の紅葉シーズンを迎えます。紅葉も素晴らしいのでまたお越しください」と結んでさりげなくバスの再利用を呼びかけたりして、観光バス会社の社員として務めを果たしていました。

最後にさわやかな気持ちになって今回の「南アルプスの女王」仙丈ヶ岳制覇？山行は無事に下山となりました。

【コースタイム】 天候；快晴

AM6：40 戸台パーク駐車場出発～7：30 北沢峠着～10：30 小仙丈ヶ岳～11：40 仙丈ヶ岳山頂（大休憩）～12：15 山頂出発～12：30 仙丈小屋～13：10 馬の背ヒュッテ～13：35 藪沢小屋 14：55 北沢峠バス停～15：15 同バス停発～16：00 戸台パーク駐車場（仙流荘前）着